

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <https://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 佐々木 卓 (TEL) 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	709,056	7.9	5,835	88.9	6,418	73.2	4,049	90.6
2023年3月期第1四半期	657,122	2.1	3,088	△19.7	3,706	△21.6	2,124	△34.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 9,705百万円(6.4%) 2023年3月期第1四半期 9,122百万円(381.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	20.15	-
2023年3月期第1四半期	10.50	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,389,140	479,925	34.5
2023年3月期	1,339,852	488,335	36.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 479,661百万円 2023年3月期 488,090百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	28.00	-	29.00	57.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	34.00	-	35.00	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,372,000	3.0	12,200	19.3	13,400	16.6	8,700	24.3	45.38
通期	2,744,000	1.8	32,000	6.1	34,000	3.6	22,000	△14.7	114.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期 1Q	202,840,000株	2023年3月期	202,840,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期 1Q	6,346,975株	2023年3月期	471,650株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期 1Q	200,900,892株	2023年3月期 1Q	202,369,407株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、2022年5月に策定した「22-24中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～(以下「22-24中計」という。)」のなかで、グループ経営方針に掲げた「事業モデルの強化と新たな価値の創造」「グループ一体となった取り組みによる地域の健康・医療への貢献」「環境保全への取り組み等を通じたサステナブル社会への貢献」「ダイバーシティを中心とした人材戦略の推進」「コンプライアンスの遵守を最重要とする企業風土の醸成」に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが本年5月から「5類感染症」に移行されましたが、再拡大の様相を呈しております。このようななか、当社グループは、生命関連商品を取り扱う社会インフラとしての使命を果たすべく、お取引先様および当社グループ従業員の安全を確保しながら医薬品等の安定供給に努めております。

当社は、2023年4月1日付の機構改革において、グループ医療卸事業統括部、トータルサプライチェーンサービス企画推進部、再生医療事業企画開発室、流通コンプライアンス室を新設するなどの組織再編を行い、グループ一体となって事業モデルの強化と新たな価値の創造およびコンプライアンス遵守の体制強化に取り組んでおります。

2023年5月、当社グループの更なる企業価値向上を実現すべく、2032年度までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を公表するとともに、資本効率の改善と株主還元の実現を図るべく発行済み株式総数の10.4%に相当する21,000千株、350億円を上限とする過去最大規模の自己株式取得を決議いたしました。

また、2023年5月、当社は、抗体医薬を主体とした研究開発を行う株式会社凍研究所(本社：東京都中央区)に対し第三者割当増資による出資をいたしました。同社が進める抗体医薬の開発を支援していくとともに、トータルサプライチェーンサービスの実現に向けて医薬品等製造事業における開発パイプラインと製造技術を強化してまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高7,090億56百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益58億35百万円(同88.9%増)、経常利益64億18百万円(同73.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益40億49百万円(同90.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等卸売事業におきましては、スペシャリティ領域ならびにメディカル品へのリソース集中とDXによる事業変革を図るべく、「22-24中計」の重点施策として掲げた「既存事業の強化」「事業変革による収益化」「グループ全体での最適化・効率化・標準化」に取り組んでおります。

当社グループでは、新たな医療サービスの開発に挑戦する様々なベンチャー企業との提携により、医療分野における課題解決への取り組みを進めております。2023年5月、連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区)は、キッズウェル・バイオ株式会社(本社：東京都中央区)および三菱倉庫株式会社(本社：東京都中央区)との間で、キッズウェル・バイオ株式会社が再生医療等製品として開発中のヒト乳歯髄幹細胞の高品質かつ安定的な保管・輸送体制の構築に関する業務委託基本契約を3社間で締結いたしました。アルフレッサ株式会社は、再生医療分野においても同社の社会的使命である医薬品の安定供給を担うべく、ヒト乳歯髄幹細胞を原料とする再生医療等製品の実用化に向けた3社間の協業を進めてまいります。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、2023年4月に実施された薬価の中間年改定によるマイナス影響はあったものの、市場の伸長および一部製薬メーカーの流通体制変更の影響を受け増収となったこと等により、売上高6,315億95百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益52億95百万円(同116.7%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高47億83百万円(同6.1%増)を含んでおります。

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、既存領域の高収益化と成長領域への挑戦を推進し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「高収益化への取り組み」「グループ連携強化」「事業変革による収益力強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後の都市部における人流回復に加えて、訪日外国人増加によるインバウンド需要増に伴う市場回復の影響から増収となったこと等により、売上高646億27百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益7億70百万円(同71.9%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高1億53百万円(同8.1%増)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、「次代の基盤創り」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくり」「トータルサプライチェーンサービスの実現に向けた取り組み」「デジタルを活用した新たな取り組み」を推進しております。

2023年4月、連結子会社のアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市中央区)とサンノーバ株式会社(本社：群馬県太田市)は、アルフレッサ ファーマ株式会社を存続会社とする吸収合併を行いました。本合併により新たな価値の創造を通じて顧客満足を追求し、当社グループが掲げる「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム<sup>®</sup>」の実現に貢献してまいります。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、製造販売権を承継した長期収載品の売上伸長および新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原迅速検査キット「アルソニック<sup>®</sup> COVID-19 Ag」をはじめとする診断薬の底堅い需要による増収の一方で、ALS治療薬開発に係る契約一時金支出等の経費増の影響により、売上高123億26百万円(前年同期比12.5%増)、営業損失4億42百万円(前年同期は営業利益2億7百万円)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高34億86百万円(前年同期比12.6%増)を含んでおります。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、予防からターミナルケアまでライフジャーニーにおけるすべてのステージに対応する「かかりつけ薬局」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「在宅医療への取り組みによる事業の成長」「DXによる事業変革」「未病予防への取り組み」を推進しております。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、薬価改定によるマイナス影響はあったものの、調剤技術料の獲得増加による増収等の影響により、売上高89億31百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益82百万円(前年同期は営業損失92百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して492億87百万円増加し、1兆3,891億40百万円となりました。

流動資産は、352億91百万円増加し、1兆698億19百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」が92億65百万円増加および「受取手形及び売掛金」が337億43百万円増加した一方で、「商品及び製品」が38億84百万円減少および未収入金等の「その他」が45億53百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、139億96百万円増加し、3,193億21百万円となりました。これは主として、物流センター等の設備投資などに伴い有形固定資産が27億26百万円増加および保有株式の時価上昇等に伴い「投資有価証券」が88億17百万円増加したことによるものであります。

② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して576億97百万円増加し、9,092億14百万円となりました。

流動負債は、557億78百万円増加し、8,815億10百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が487億10百万円増加および「短期借入金」が25億円増加、「賞与引当金」が11億63百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、19億19百万円増加し、277億4百万円となりました。これは主として、「退職給付に係る負債」が4億58百万円増加および保有株式の時価上昇等に伴い繰延税金負債等の「その他」が13億77百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して84億9百万円減少し、4,799億25百万円となりました。これは主として、配当金の支払い等により「利益剰余金」が13億8百万円減少および株主還元の一環として自己株式を取得したこと等に伴い「自己株式」が127億57百万円増加した一方で、保有株式の時価上昇等に伴い「その他有価証券評価差額金」が57億37百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における市場の動向および当社グループの業績は概ね計画通り推移しており、本年5月15日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	160,122	169,387
受取手形及び売掛金	623,654	657,398
商品及び製品	145,349	141,464
仕掛品	1,469	1,822
原材料及び貯蔵品	5,972	6,359
その他	98,379	93,826
貸倒引当金	△419	△439
流動資産合計	1,034,527	1,069,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,702	62,762
土地	72,127	72,083
その他（純額）	40,992	44,701
有形固定資産合計	176,821	179,547
無形固定資産		
のれん	2,545	2,440
その他	15,314	14,821
無形固定資産合計	17,860	17,261
投資その他の資産		
投資有価証券	91,555	100,373
その他	24,120	27,184
貸倒引当金	△5,033	△5,045
投資その他の資産合計	110,643	122,511
固定資産合計	305,325	319,321
資産合計	1,339,852	1,389,140

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	780,343	829,054
短期借入金	-	2,500
未払法人税等	6,046	6,283
賞与引当金	7,210	8,373
役員賞与引当金	384	142
独占禁止法関連損失引当金	4,937	4,937
その他	26,810	30,218
流動負債合計	825,732	881,510
固定負債		
株式給付引当金	73	111
役員株式給付引当金	90	135
退職給付に係る負債	8,363	8,822
その他	17,257	18,635
固定負債合計	25,784	27,704
負債合計	851,517	909,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	57,720	57,720
利益剰余金	366,649	365,341
自己株式	△686	△13,444
株主資本合計	442,137	428,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,135	52,873
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	△3,346	△3,346
為替換算調整勘定	269	286
退職給付に係る調整累計額	1,895	1,775
その他の包括利益累計額合計	45,953	51,589
非支配株主持分	244	264
純資産合計	488,335	479,925
負債純資産合計	1,339,852	1,389,140



## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	657,122	709,056
売上原価	614,629	661,241
売上総利益	42,493	47,815
販売費及び一般管理費	39,404	41,979
営業利益	3,088	5,835
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	362	373
不動産賃貸料	155	136
その他	184	185
営業外収益合計	713	707
営業外費用		
支払利息	17	15
支払手数料	-	25
不動産賃貸費用	47	44
その他	30	39
営業外費用合計	95	124
経常利益	3,706	6,418
特別利益		
固定資産売却益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産売却損	2	5
固定資産除却損	22	34
減損損失	1	4
投資有価証券評価損	104	0
その他	5	-
特別損失合計	136	44
税金等調整前四半期純利益	3,570	6,380
法人税、住民税及び事業税	5,523	5,966
法人税等調整額	△4,113	△3,655
法人税等合計	1,410	2,311
四半期純利益	2,159	4,069
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,124	4,049
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	20

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,023	5,737
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	77	17
退職給付に係る調整額	△139	△120
その他の包括利益合計	6,962	5,635
四半期包括利益	9,122	9,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,087	9,684
非支配株主に係る四半期包括利益	35	20

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、会社法第459条第1項および当社定款第46条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。主にこのことにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が12,757百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は13,444百万円となっております。

(セグメント情報)

## 1. 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケーシ ョン卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	580,932	59,475	7,863	8,850	657,122	—	657,122
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,507	142	3,096	—	7,745	△7,745	—
計	585,439	59,617	10,959	8,850	664,868	△7,745	657,122
セグメント利益又は損失(△)	2,443	448	207	△92	3,006	82	3,088

(注1) セグメント利益の調整額82百万円には、セグメント間取引消去△31百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用113百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケーシ ョン卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	626,811	64,473	8,840	8,931	709,056	—	709,056
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,783	153	3,486	—	8,423	△8,423	—
計	631,595	64,627	12,326	8,931	717,480	△8,423	709,056
セグメント利益又は損失(△)	5,295	770	△442	82	5,706	129	5,835

(注1) セグメント利益の調整額129百万円には、セグメント間取引消去62百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用67百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。